

令和5年度 施策評価について (答申)

令和5年8月

小金井市長期計画審議会

施策 1 みどりと水の環境整備

長期計画審議会コメント

・公園環境美化サポーターとの意見交換については、課題の共有と目指すべき「みどりと水の環境」に向け、市民や団体等へ広く周知し、現在参加していない若年層にも伝えていく必要がある。サポーター以外の市民も巻き込みながら、市、指定管理者が広く協働し、繋がりをもった仕組みづくりに努め、更なる市民協働によるみどりの保全と活用を進めてほしい。

【意見】

現状維持を目標とするものと今までの取組では手遅れになる可能性があるものなど、課題のレベル分けをすることができれば市民に響きやすいのではないかと思う。

施策 2 循環型社会の形成

長期計画審議会コメント

・3Rに取り組んでいる市民の割合が目標値に達しているため、市民への啓発や環境学習の推進の成果が出てきている。循環型社会の実現を目指し、施策の周知やごみの排出量削減に向けた更なる創意工夫に期待する。
・総括については認識相違がなく、評価する。次のアクションとして、更なる家庭系ごみ排出量の削減に向けた原因分析が進むことを期待する。

【意見】

3Rに取り組むという目標や手段の情報提供に比べて、なぜ取り組むべきかという理由が少ない印象がある。市、国、世界の問題は時代とともに変化するため、そこから市民の意識を変えていくアプローチがあってもよいと思う。

施策3 環境保全の推進

長期計画審議会コメント

- ・ 環境保全に向けた意識は上がっているという結果が出ており評価する。総排出量とのギャップに目を向け、次の目標とアクションプランの設定が求められる。
- ・ 指標1は受け止め方に個人差があると考えられるため、制度の周知にとどまらず、市民のアクションにつながるような事例についての広報などにより、「家庭でできる省エネ行動」をもう少しアピールすることで更に割合を上げることができると考える。

【意見】

住宅新エネルギー機器等普及促進補助金の利用率や、事業者向け啓発事業の具体的な成果なども見える化していただきたい。

施策4 市街地の整備

長期計画審議会コメント

- ・ 指標1の「小金井らしい魅力的な市街地」の定義を具体的に優先順位をつけて説明した方が評価をしやすい。

【意見】

なし

施策5 住環境の整備

長期計画審議会コメント

- ・ 指標5の値は減少したものの、各事業が目標に対して進捗している状況は評価できる。引き続き、各事業を実施し、安全かつ快適で住み心地の良いまちを目指し、取り組んでいただきたい。

【意見】

なし

施策 6 都市インフラの整備

長期計画審議会コメント

- ・「小金井らしい魅力的な市街地」と都市インフラの両立や融合につながる道路設計を期待する。
- ・道路の快適性、管理への評価が下がっているが、都市インフラの進捗状況等を市民に共有することにより、環境の見える化を図り、災害に強いまちづくりを実感してもらうことも重要と考えられる。

【意見】

指標 3 の無電柱化や都市計画道路の進捗によって指標 1 の数字が大きく影響を受けると考えられるので、取組を確実に進めることが必要。

指標 2 では適切に管理されていると感じていない市民が約 60%おり、それぞれ個別の理由があると考えられるのでその理由も把握した方がよい。

施策 7 交通環境の整備

長期計画審議会コメント

- ・交通事故死傷者数が増加、アンケート結果が停滞していること、また、生活実感から、良い評価はできなかった。交通対策課だけでなく、市街地や都市インフラの整備と連携した施策を期待する。
- ・電動キックボードやタンDEM自転車等のルール緩和により交通対策の範囲は拡大するため、指標アンケートの目標達成には先回りの対策も必要になると考えられる。

【意見】

各指標で令和 3 年度実績から下がっているのが気になるので、今後の対策に期待する。

施策 8 危機管理体制の構築

長期計画審議会コメント

- ・ 総合防災訓練の実施など、コロナ禍で中止していた取組を再開したことは一定の評価ができる。コロナ禍で希薄になったコミュニティの形成や、市民の防災意識の向上に向けて、更なる啓発や広報等の取組を期待したい。
- ・ 指標 1、2 の値については、当初より上がっており、評価する。
- ・ 防災イベントも必要だが、他のイベントに防災の要素を組み込むことも必要と感じる。「人の輪」をつなげるためには防災だけのテーマでは難しい面もあると考える。

【意見】

なし

施策 9 地域の安全・安心の向上

長期計画審議会コメント

- ・ コロナ禍で開催を縮小していた消費者啓発事業が通常開催となり、参加者が増加したことで、多くの市民に啓発活動を行ったことは評価できる。
- ・ 近年の犯罪は新たな手口がすぐに流行し、対策が講じられるとまた新たな手口に変化するサイクルが非常に短いので、一刻も早い情報提供が必要になると考えられる。市のホームページでも、最新の犯罪事例と対策を紹介するなど、関係機関とも連携した犯罪抑止に努めていただきたい。
- ・ 犯罪被害は年齢層によって問題も違うため、各年齢層に対応した犯罪発生件数などを把握し、対応に努めていただきたい。

【意見】

なし

施策 10 産業・観光の振興

長期計画審議会コメント

- ・指標 1 の値が増加傾向にあるが、この活気をどのように地域で維持、向上させていくか実施方法等を検討する必要がある。小金井市の魅力を市内外に発信し、平日休日問わず多世代が交流できるまちを目指していただきたい。
- ・まちの活気が指標 2 にどの程度影響があるか注視したい。ウィズコロナを意識して、イベントの実施が、一時的ではなく継続的なにぎわいとなるような工夫や仕掛けを検討していただきたい。

【意見】

徐々に成果が出ていると評価する。にぎわいの創出は経済課に閉じず、他部署と連携していくことを期待する。

平日と休日の滞在率によって、消費動向に開きがあることが推測されるので、担当部局は国等の調査結果を注視し、取り組んでいただきたい。

施策 11 都市農業の振興

長期計画審議会コメント

- ・農業振興計画に基づき、市内産農産物の利用促進や市民農園、地産地消、小金井農業の魅力発信に取り組んでいる。農産物の高付加価値化、ブランディングなどを行い、市内農業者の支援を期待する。
- ・「採れたて」農産物の魅力をアピールすることを検討していただきたい。また、継続購入につながる対策を引き続き検討していただきたい。

【意見】

農産物のうまみや鮮度等で数値化可能なものがあれば、小金井産のアピールに活用してほしい。

施策 1 2 子どもの育ちの支援

長期計画審議会コメント

・ 課題、指標、評価は適切であるが、指標 1 の「子どもが育ちやすい環境だと思ふ市民の割合」が前年度より減少していることが懸念である。この指標の値の減少が、新型コロナウイルス感染症により活動が制限されたことが直接の原因なのか、子どもたちの環境が変わったことによる意識の変化や需要の変化によるところなのかを分析した上で、今後の具体的な施策を立てていただきたい。

【意見】

子どもオンブズパーソン相談室の開設は直接指標の値には現れづらいが、相談室機能や子どもの権利条例の周知などを評価する。

施策 1 3 子育て家庭の支援

長期計画審議会コメント

・ 施策が多岐にわたるため、子育て家庭への情報をまとめた冊子を作られているので、周知と更なる活用に努めていただきたい。
・ 2つの指標に関しては前年度より値が減少しているため、国の施策を注意深く観察し、国からの補助金等を効果的に活用することを念頭に入れるなどの工夫が望まれる。

【意見】

指標 1 の値が前年度と比べ下がっているが、困難を抱える家庭への支援の充実は特に力を入れていく必要があると考える。

子育て家庭への支援の充実については、実際にその支援を必要としている方に意見を聞くなど、市民ニーズをもっと取り込む必要があると考える。

課題について、もう少し具体的に出していただけると分かりやすいと思う。

施策 1 4 子育て・子育て環境の充実

長期計画審議会コメント

- ・ 課題、指標、評価は適切である。子育て支援活動の最大の課題は、場所の確保である。小金井市の連携協定先である大学、専門学校等のスペースの活用を考えていただきたい。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の経験で学んだ遠隔方式の繋がりをネットワーキングや行事に活かす工夫も必要である。

【意見】

指標 1 の値が減少しているのが、本当に新型コロナウイルス感染症のための活動制限などが影響してきたのかは分かりづらい。それ以外の面での課題の有無についても検討していただきたい。

子育て支援活動の場所の確保には、空き家の利活用等も検討していただきたい。

施策 1 5 学校教育の充実

長期計画審議会コメント

- ・ 指標 1 の目標を 100% にしているが、もくせい教室が果たしている役割にも注目すべきであり、指標 1 の内容を質的に高めることを望む。
- ・ コミュニティ・スクール制度の充実、更には学校家庭連携推進事業の新たな展開に期待したい。

【意見】

指標 1、2 共に中学校においては成果が見えて喜ばしいことだと思う。引き続きより良い学校教育になるよう進めていただきたいが、教育の充実を図ると必然的に教職員の負担は大きくなると考えられるため、同時に教職員の負担軽減にも注力していただきたい。小学校においては指標の値が当初と変わらないか若干下がっているため、今後あらためて課題を探る必要があるのではないかと思う。

施策 16 学校環境の整備

長期計画審議会コメント

- ・各学校のバリアフリー化について不十分なところがあれば検討するべきである。また、トイレの洋式化やエアコンなど、子どもが常に使用する設備の整備・充実は優先度をあげて取り組んでいただきたい。
- ・国策の異次元の少子化対策のもと、市として国や都からの補助金を効果的に活用する努力を継続してほしい。

【意見】

指標3の値が大きく増加していることは大いに評価できる。

施策 17 芸術文化の振興

長期計画審議会コメント

- ・指標1は、市民ベースの合唱、絵画、書等々の芸術活動が実際にコロナ禍でも地道に継続しており、近隣市を含めた広域活動になっているケースも少なからずあり評価できる。
- ・指標2は、当初の値は未設定であったが、達成率は順調に増加している。今後、様々な活動を復活し小金井市の品格を更に上げてほしい。

【意見】

なし

施策 18 国際交流・都市間交流の推進

長期計画審議会コメント

- ・市民には国際交流に対する潜在的ニーズは強いものの、きっかけを見出せない状態にあると思われる。そのため社会福祉協議会や市民活動団体を積極的に活用していただきたい。
- ・ウィズコロナでインバウンドが大幅に増加している。SNSを活用し、海外の視点から外国人が興味を持つ小金井市の様々な魅力あるスポットを発掘し発信していただきたい。

【意見】

休止した事業の再開とともに、新しい活動の検討などを含め、積極的に他の自治体との交流の機会を検討していただきたい。

施策 19 人権・平和・男女共同参画の尊重

長期計画審議会コメント

- ・啓発事業は地道に継続していくことが肝要である。学生や生徒等の若年層を対象とする事業も考えていただきたい。
- ・人権、平和、男女共同参画については継続して取り組むべき事柄である。新たに顕在化した人権問題に対しても、真摯な議論を期待する。

【意見】

2018年の市民意向調査の結果を分析すると、この項目への満足度が今後の定住意向を高めていることが分かる。小金井市のイメージを規定する重要な要因ではないかと考える。

施策20 生涯学習の振興

長期計画審議会コメント

- ・これまでの生涯学習は高齢者に偏っていた印象であるが、これからは全世代にわたる生涯学習が求められる時代になった。コミュニティ・スクールの導入により、学校、地域、諸団体の更なる連携に期待したい。
- ・連携協定先である大学との活動の設計など、各部署における所掌範囲を超えた検討が必要ではないかと考える。

【意見】

生涯学習の振興事業は安定的に展開しているが、受け皿となる公民館等公共施設の老朽化が進んでおり、細かな修繕すら遅れ気味であることに留意願いたい。

施策21 スポーツの振興

長期計画審議会コメント

- ・コロナ禍の休館期間を活用し実施した総合体育館及び栗山公園健康運動センターの大規模改修工事は、評価できる。それに伴い、一定期間、施設の利用を制限したことが指標の伸びを阻害していることも納得できる。
- ・連携協定先である大学や専門学校など、教育機関におけるスポーツ施設の借用について一部開始しているが、可能であれば更なる拡充も検討していただきたい。

【意見】

なし

施策 2 2 福祉のまちづくりの推進

長期計画審議会コメント

- ・ 指標 1 について、困ったときの相談機関は充実しているものの、地域で互いに助け合える共助の目標達成に向けては、地域コミュニティ全体での包括支援体制の構築にまで至っておらず、新たな取組が必要ではないかと考える。
- ・ 2 つの指標とも目標値には至っていないが、コロナ禍にも関わらず堅調に増加している。今後は、DX の活用などによる業務の効率化を検討していただきたい。

【意見】

指標は前年度より増加しているが、目標値には遠い。より具体的に課題を抽出し、施策につなげてほしい。

施策 2 3 高齢者の生きがいの充実

長期計画審議会コメント

- ・ 本施策とのかかわりで、男性の社会参加がまだまだ少ないと感じる。この手立てを充実させる必要があるのではないかと考える。
- ・ 社会参加をしたい高齢者に情報がきちんと行き渡るよう、引き続き情報発信のあり方の検討も含め、本施策に取り組んでいただきたい。
- ・ 高齢者の生きがいの充実のため、新型コロナウイルス感染症を通じて明らかになった諸事実を分析し、政策に活かしていただきたい。

【意見】

介護支援ボランティアや高齢者農園などと社会参加機会を拡大することは大賛成である。

施策 2 4 高齢者が暮らし続ける仕組みの充実

長期計画審議会コメント

- ・対象となる高齢者への総合相談と生活支援等の日常生活レベルでの支援が重要であり、そのなかで介護する家庭への支援も忘れてはならない。これらを踏まえ、最終的には地域コミュニティ全体で支援する体制構築が望まれる。
- ・高齢者のみ世帯が増加する中でも、住み慣れた地域でできるだけ自立して生活が続けられるような支援が望まれる。

【意見】

なし

施策 2 5 障がい者福祉の充実

長期計画審議会コメント

- ・目指すべき共生社会実現の基本となる「小金井市障害福祉サービスガイドライン」の策定は評価できる。障がいのある方への理解促進のため、更なる普及、啓発の方策を検討していただきたい。
- ・社会資源不足を補うためのネットワーク構築の一環として、相談支援事業所連絡会の定期開催を行ったことは評価できる。

【意見】

なし

施策 2 6 健康の維持・増進

長期計画審議会コメント

- ・食育の取組に対する指標 2 の値の低下は問題である。食育こそフードロス対策、フードドライブ事業と並んで現下において検討すべき課題であり、早急に広報、啓発活動に当たっていただきたい。
- ・各自の健康の維持・増進に本当に必要な啓発活動を更に進めていただきたい。

【意見】

3つの指標とも高い達成率であることは評価したい。

施策 27 市民参加・協働の推進

長期計画審議会コメント

- ・市民参加の必要性や協働の理解が促進されるよう、若年層を含むサイレント層に向けた発信方法を検討していただきたい。各活動に参加した団体等のフォロー、活動の成果が大きかった事業の調査、研究などを行い、協働事業提案制度に活かしていただきたい。
- ・若者層の市民参加手法の拡充とオープン化など、途中からでも参加しやすい仕組みづくりを期待する。

【意見】

町会・自治会への加入率が低下している中で、ポスターで一定の効果があつたことから更に加入促進を工夫しながら推進していくことを期待する。

オンライン傍聴や毎月のタウンミーティングの開催など、取組の強化を評価する。

施策 28 積極的な情報発信

長期計画審議会コメント

- ・市民が求めている行政情報を入手しやすいツールや運用の仕組みを検討いただきたい。また、今後も情報量は増え続けると考えられるため、検索機能の有効活用法についても情報として発信されると良い。
- ・LINEやSNSなどの取組について評価する。広報のあり方は難しいテーマであると認識しており、持続的で継続的な広報手段の拡充と見直しを期待する。

【意見】

なし

施策 29 計画的な行財政運営

長期計画審議会コメント

- ・ 業務環境の整備やDXによる業務効率化に期待する。アンケートの結果より、最終的に達成したい目的からブレイクダウンした定量的・定性的目標の設定と、設定した目標の背景、ゴールに向かうまでのステップを共有することで更に効果を発揮できると考えられる。このような取組を検討していただきたい。
- ・ 計画や指標はシンプルで誰にでも分かりやすいことが必要と考える。計画は必要な場合、柔軟に見直し、行財政運営を進めていただきたい。
- ・ 第5次小金井市基本構想・前期基本計画に基づき適正に課題が設定され、かつ指標は継続的に設定され、評価の構造は適切である。

【意見】

なし